

第5号議案

地域資源の適切な保全管理のための推進活動

今後農業者の減少が更に進み、現在多面的機能支払交付金を利用している水路や農道の草刈り作業などにも労力不足などの問題が発生することが懸念されます。そのための対策などを年1回以上話し合うことが、当交付金を受給するために必須の活動となっています。

阿蘇諏訪団地活動組織の現状と問題点

昨今の、地域の過疎化や農家の減少に伴い、担い手農家の耕作面積が増えているので、耕作者だけでは農地や水路や農道の草刈りや溝さらいに手が回らなくなってきている。
急傾斜地が多く、人力での草刈り作業に危険が伴う。

対策

- ・ 地域内の中心経営体の育成を進めるとともに、中心経営体に負担が集中しないようにカバーする。
そのために、大型機械を利用し、農道の草刈り作業の省力化を図る。

具体的な活動

- ・ 農業支援センターのアーム型草刈り機に、急傾斜の草刈り作業を外注し、労力不足を補う。
- ・ 大型機械を持っている農業者のかたに協力していただき、農道の草刈り作業の省力化を図る。

みんなで守ろう
農村環境

